

全国砂留シンポジウム

日時 **10月9日**
12:30～17:00

場所 **神辺文化会館**
大ホール 神辺町川北1155-1

入場
無料

今
三
世
代
が
守
る
堂
々
川

砂留は時代を超えた宝もの



江戸時代に築造された堂々川砂留群は、福山の地がかつて甚大な土砂災害に見舞われたことを物語っており、その困難に立ち向かった先達の努力と工夫を具現した貴重な歴史遺産です。この遺産を次世代へ継承していくためには、私たちの積極的な関わりが必要です。

本シンポジウムでは、砂留群の重要性を再認識するとともに、将来にわたって保護し、地域のために活用していく方策について考えます。

民話 ゴンとハチ

の DVD 放映



子どももいっしょに
お楽しみ

西小学校・中条小学校・
御野小学校生徒
の活動発表も！



今 三世代が守る堂々川 砂留は時代を超えた宝もの
小学生とボランティアメンバーの全国砂留シンポジウム

プログラム内容や出演者は変更になることがあります。敬称は略します

2016 (平成28) 年10月9日

総合司会 宇佐美春乃 原田明穂 (福山市立大学3年)

- 12:10 開場・受付 館内展示閲覧可能
- 13:00 開会挨拶 高橋 孝一 (主催者 会長)
来賓御挨拶
- 13:20 一部 歴史と自然と環境
DVD 放映 民話ゴンとハチ (司会者にて紹介)
活動報告 (福山市立西小学校 福山市立中条小学校 福山市立御野小学校)
- 14:10 二部 砂留シンポジウム
特別講演 尾島 勝 (福山大学宮地茂記念館 館長)
(講演演題 芦田川下流域 神辺地区の御領遺蹟と砂留遺構の歴史伝承)
- 15:00 パネルディスカッション
コーディネーター 向井 厚志 (福山市立大学都市経営学部 教授)
パネラー 加藤 輝和 (長野県 牛伏鉢伏友の会 会長)
光成 良秀 (広島県 別所砂留を守る会 会長)
伊藤喜右エ門 (福井県 田倉川と暮らしの会 会長)
友道 康仁 (広島県東部建設事務所長)
蒲原 潤一 (長野県建設部参事兼砂防課長)
土肥 徳之 (堂々川ホテル同好会 事務局長)
- 16:30 シンポジウムまとめ
向井 厚志
- 16:40 閉会挨拶 松永 泰雄 (主催者 副代表)



尾島名誉教授



向井教授

会場へのアクセス

JR 福塩線神辺駅タクシー5分 湯田村駅徒歩15分
山陽自動車道 福山東インターから15分



福山市内砂留及び御領古墳巡り(無料)

10月10日 9時 ~ 12時予定

福塩線 神辺駅発着コース

芦田町 別所砂留 土木学会選奨土木遺産

神辺町 堂々川砂留 国登録有形文化財

御領山古墳の丘 西日本で最大規模の古墳敷

当日御野学区主催の古墳祭りがおこなわれ、
イベント参加者もこの場に来る予定です。

招待者・関係者50名には別途御案内を出します

問合せ先 原則 FAX のみで受付

電話084-966-2424 福山市立御野公民館

FAX 084-966-0006 堂々川事務局